

## 情報社会を生き抜くメディアリテラシー

シリーズ講座 第2回（全3回）

# SNSでつながる子どもの 被害防止を考える

テレビやインターネットなどの情報の中には、性役割を限定したり、助長したり、性を商品化するものがあることに気がついていませんか。メディアリテラシーとは、情報（メディア）を主体的に読み解き、使いこなす能力のことです。情報社会を安全に生きるために、テレビや本などのメディアや、SNS（フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス）などの新しいメディアについても現状を知り、対策について一緒に考えてみませんか。

日 時：9月3日（土）14：00～16：00  
場 所：清瀬市男女共同参画センター（アイレック）  
講 師：渡辺真由子さん（メディアジャーナリスト）  
定 員：先着40名 参加費無料  
申 込：8月1日（月）9：00～電話で  
（土日・祝祭日を除く平日の9：00～17：00）



### 第3回

「記事」「広告」から情報リテラシーを学ぶ

10月22日（土）14：00～16：00

講師：大橋由香子さん（フリーライター・編集者）

※第3回は9月15日号の市報でお知らせします。

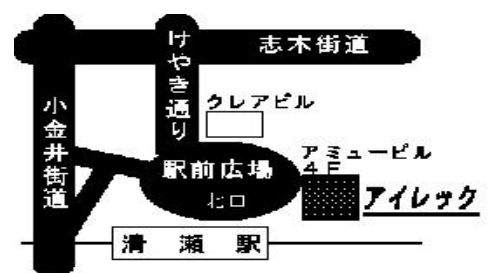
保育申込：無料  
先着10名  
6か月～就学前まで  
8月23日までに

問合せ先 清瀬市企画部男女共同参画センター  
（アイレック）

住所 清瀬市元町1-2-11（アミュービル4階）

電話 042-495-7002

※駐車場・駐輪場はありませんので、ご了承ください。



情報社会を生き抜く力をつけるための

# メディアリテラシー シリーズ講座（全3回）

## 講師紹介

### 第1回 講師 国広陽子 くにひろようこ

武蔵大学名誉教授・元東京女子大学教授。

1970年大学卒業後NHK番組制作ディレクターを経て2016年春まで大学勤務。

放送局在職中は「ステージ101」、学校放送番組「たのしいきょうしつ」などを担当。

現在は非常勤講師として学生の指導にあたる。

専門は女性学、マスコミュニケーション、女性と政治。

関連する主な著作

単著「主婦とジェンダー」（尚学社）

共著「メディアとジェンダー」（勁草書房）、「テレビという記憶」（新曜社）、「テレビ報道職のワーク・ライフ・アンバランス」（大月書店）

終了しました

### 第2回 講師 渡辺真由子 わたなべまゆこ



メディアジャーナリスト・慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員。

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程を経て現職。元テレビ局報道記者。いじめ自殺と少年法改正に迫ったドキュメンタリー『少年調書～16歳の自殺遺族は何と闘ったか』で日本民間放送連盟賞最優秀賞などを受賞。退職後、カナダのサイモン・フレイザー大学でメディア・リテラシーを研究。ネット時代の子どもを取り巻く「性」や「いじめ」などの人権問題を18年以上にわたり取材し、賢くSNSと付き合うノウハウを伝授。文科省「ケータイモラルキャラバン隊」、法務省「人権啓発指導者養成研修会」、内閣府「児童ポルノ排除対策シンポジウム」パネリストなどを歴任。著書に『リベンジポルノ～性を拡散される若者たち』、『大人が知らない ネットいじめの真実』ほか多数。

### 第3回 講師 大橋由香子 おおはしゆかこ



出版社勤務を経てフリーライター・編集者。女性学、文章表現法の非常勤講師も勤める。『同時通訳者 鳥飼玖美子』『生命科学者 中村桂子』（理論社）『満心愛の人』（インパクト出版会）、ブログ連載「不実な美女たち：女性翻訳家の人生をたずねて」（光文社）など人物インタビューのほか、著書に『ニンプ・サンプル・ハハハの日々』（社会評論社）『からだの気持ちをきいてみよう』（ユック舎）等。